

モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版)

第3期(決算日2023年3月6日)

作成対象期間(2022年3月8日~2023年3月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2020年2月28日から2030年3月6日までです。	
運用方針	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行わない場合があります。	
主な投資対象	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	価額			株組入比率	株先物比率	純資産額
		税分	込配	期騰落率			
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000	円	円	%	%	%	百万円 576
1期(2021年3月8日)	11,841	160	20.0	100.8	—	13,811	
2期(2022年3月7日)	12,410	160	6.2	96.5	—	16,465	
3期(2023年3月6日)	11,050	150	△ 9.8	96.4	—	11,825	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落		
(期首) 2022年3月7日	円 12,410	%	—	%	%
3月末	12,889	3.9	—	96.5	—
4月末	12,034	△ 3.0	—	96.1	—
5月末	11,975	△ 3.5	—	95.8	—
6月末	11,289	△ 9.0	—	98.0	—
7月末	11,902	△ 4.1	—	94.9	—
8月末	11,367	△ 8.4	—	98.0	—
9月末	10,394	△ 16.2	—	97.4	—
10月末	10,753	△ 13.4	—	96.3	—
11月末	11,058	△ 10.9	—	96.0	—
12月末	11,008	△ 11.3	—	94.2	—
2023年1月末	11,362	△ 8.4	—	98.4	—
2月末	11,018	△ 11.2	—	97.4	—
(期末) 2023年3月6日	円 11,200	△ 9.8	—	96.4	—

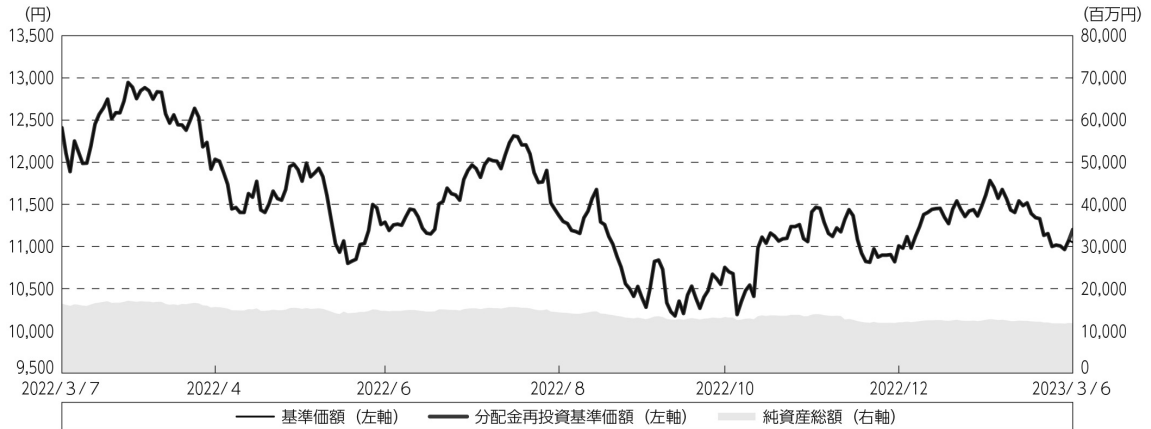
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：12,410円

期末：11,050円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：△9.8%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2022年3月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首12,410円から期末11,050円となりました。

(上昇)

- ・2022年3月、FOMC（米連邦公開市場委員会）が市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したことや、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったことなど。
- ・2022年7月、FRB（米連邦準備制度理事会）がFOMCにおいて市場想定通り0.75%の政策金利引き上げを決定し、過度な金融引き締め懸念が後退したことなど。
- ・2023年1月、2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したこと、12月のISM非製造業景況感指数が市場予想に反して低下したことなどから、FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだことなど。

（下落）

- ・2022年6月、5月の米国CPI（消費者物価指数）上昇率が4月と比較して加速したことで、FRBが金融引き締めを強化するとの警戒感が高まったことなど。
- ・2022年9月、8月の米国CPI上昇率が市場予想を上回ったことで、FOMCで大幅利上げが実施されるとの観測が強まったこと、およびインフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が示されたことなど。

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方などに左右される展開となりましたが、下落しました。

為替市場では、円は米ドルに対して下落（円安）、ユーロに対しても下落となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG[※]の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。
※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。
- (2) ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。
- (3) 期中の主な売買としては、米国のソフトウェアメーカーの株式などを新規に組み入れ、ドイツの化学品メーカーの株式などを全売却しました。また、米国の広告・地図・消費者コンテンツなどを提供する企業の株式などを買い増しし、米国の工具メーカーの株式などを一部売却しました。

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

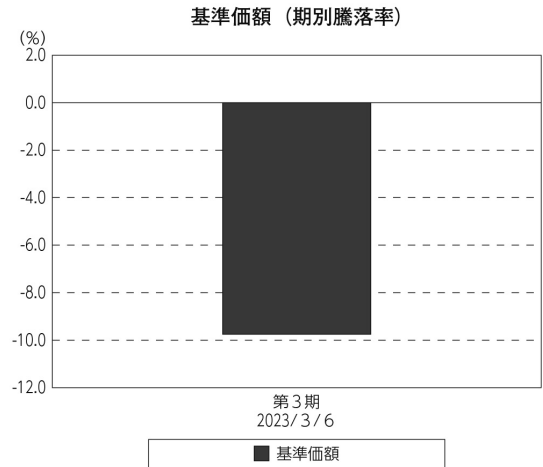
・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

収益分配金については、基準価額水準などを勘案し、1万口当たり150円の収益分配を行いました。

なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第3期
	2022年3月8日～ 2023年3月6日
当期分配金	150
(対基準価額比率)	1.339%
当期の収益	—
当期の収益以外	150
翌期繰越分配対象額	1,049

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション^{※1}」「エンゲージメント^{※2}・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング^{※3}」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1 投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。

※2 企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと。

※3 特定のセクターを除外すること。

運用チームはこれまで同様に、反復的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業への集中投資を行ないます。ブランド、ネットワーク効果、必要不可欠な製品・サービスといった「無形資産」による価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁することができます。習慣的な購買行動やサブスクリプション（定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス）などによる反復的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。

保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーション（投資価値評価）は株式市場対比で妥当な水準にあります。不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるクオリティ企業に投資することは理にかなっていると考えます。

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）]

主要投資対象である[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年 3 月 8 日～2023年 3 月 6 日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	219 (125) (88) (6)	1.920 (1.097) (0.768) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.012 (0.012)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (0) (0)	0.015 (0.009) (0.003) (0.003)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	223	1.955	
期中の平均基準価額は、11,420円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

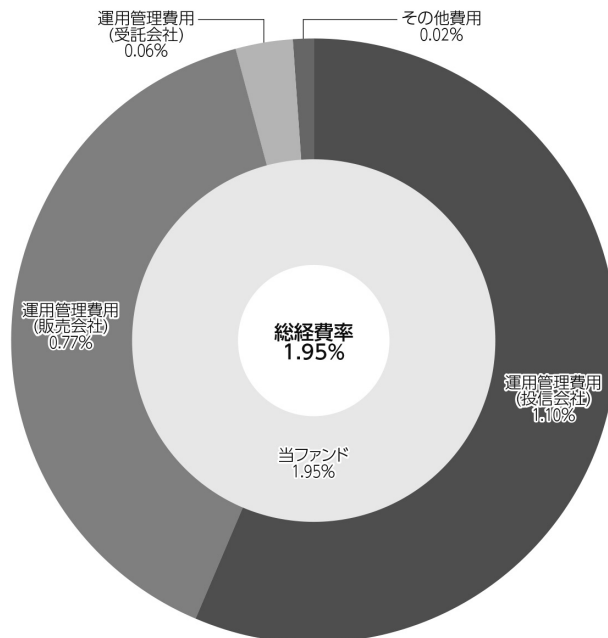
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年3月8日～2023年3月6日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	千口 2,474,821	千円 3,727,000	千口 6,271,464	千円 9,696,500

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2022年3月8日～2023年3月6日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	26,135,830千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	32,406,197千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.80

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2022年3月8日～2023年3月6日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年3月6日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	千口 11,378,902	千口 7,582,259	千円 11,748,710

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2023年3月6日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	11,748,710	95.6
コール・ローン等、その他	546,851	4.4
投資信託財産総額	12,295,561	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（30,862,127千円）の投資信託財産総額（31,125,797千円）に対する比率は99.2%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.92円、1カナダドル=99.90円、1英ポンド=163.50円、1スウェーデンクローナ=12.96円、1ユーロ=144.44円、1香港ドル=17.31円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年3月6日現在）

○損益の状況（2022年3月8日～2023年3月6日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	23,532,909,704
コール・ローン等	351,850,386
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(評価額)	11,748,710,618
未収入金	11,432,348,700
(B) 負債	11,707,456,410
未払金	11,426,202,216
未払収益分配金	160,531,772
未払信託報酬	120,511,589
未払利息	98
その他未払費用	210,735
(C) 純資産総額(A-B)	11,825,453,294
元本	10,702,118,139
次期繰越損益金	1,123,335,155
(D) 受益権総口数	10,702,118,139口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,050円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 50,483
受取利息	54
支払利息	△ 50,537
(B) 有価証券売買損益	△ 953,269,835
売買益	3,858,274,908
売買損	△4,811,544,743
(C) 信託報酬等	△ 267,045,421
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,220,365,739
(E) 前期繰越損益金	288,857,893
(F) 追加信託差損益金	2,215,374,773
(配当等相当額)	(220,703,752)
(売買損益相当額)	(1,994,671,021)
(G) 計(D+E+F)	1,283,866,927
(H) 収益分配金	△ 160,531,772
次期繰越損益金(G+H)	1,123,335,155
追加信託差損益金	2,215,374,773
(配当等相当額)	(222,555,046)
(売買損益相当額)	(1,992,819,727)
分配準備積立金	128,326,121
繰越損益金	△1,220,365,739

(注) 期首元本額は13,268,519,867円、期中追加設定元本額は1,424,959,618円、期中一部解約元本額は3,991,361,346円、1口当たり純資産額は1,1050円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額217,049,591円。(モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド)

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2022年3月8日～2023年3月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年3月8日～ 2023年3月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	995,009,034円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	288,857,893円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,283,866,927円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,199円
g. 分配金	160,531,772円
h. 分配金(1万口当たり)	150円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	150円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日2023年3月6日）

作成対象期間（2022年3月8日～2023年3月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG*の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。 ※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率			
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 2,959
1期(2021年3月8日)	12,445		24.5	97.7	—	24,990
2期(2022年3月7日)	14,110		13.4	99.0	—	34,271
3期(2023年3月6日)	15,495		9.8	97.0	—	30,349

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰	落 率		
(期 首) 2022年3月7日	円 14,110		% —	% 99.0	% —
3月末	15,609		10.6	97.1	—
4月末	15,190		7.7	96.9	—
5月末	15,130		7.2	95.9	—
6月末	15,108		7.1	96.5	—
7月末	15,715		11.4	97.0	—
8月末	15,423		9.3	97.2	—
9月末	14,661		3.9	97.1	—
10月末	15,671		11.1	96.9	—
11月末	15,329		8.6	97.0	—
12月末	14,700		4.2	96.8	—
2023年1月末	15,087		6.9	97.3	—
2月末	15,272		8.2	97.6	—
(期 末) 2023年3月6日	15,495		9.8	97.0	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,110円から期末15,495円となりました。

(上昇)

- ・ 2022年3月、FOMC（米連邦公開市場委員会）が市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したことや、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったことなど。
- ・ 2022年7月、FRB（米連邦準備制度理事会）がFOMCにおいて市場想定通り0.75%の政策金利引き上げを決定し、過度な金融引き締め懸念が後退したことなど。
- ・ 2023年1月、2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したこと、12月のISM非製造業景況感指数が市場予想に反して低下したことなどから、FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだことなど。

(下落)

- ・ 2022年6月、5月の米国CPI（消費者物価指数）上昇率が4月と比較して加速したことで、FRBが金融引き締めを強化するとの警戒感が高まったことなど。
- ・ 2022年9月、8月の米国CPI上昇率が市場予想を上回ったことで、FOMCで大幅利上げが実施されるとの観測が強まったこと、およびインフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が示されたことなど。

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方などに左右される展開となりましたが、下落しました。

為替市場では、円は米ドルに対して下落（円安）、ユーロに対しても下落となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

(1) 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG[※]の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。

※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

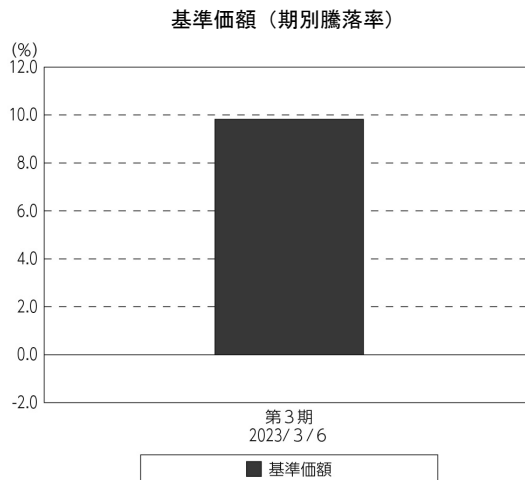
(2) ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

(3) 期中の主な売買としては、米国のソフトウェアメーカーの株式などを新規に組み入れ、ドイツの化学品メーカーの株式などを全売却しました。また、米国の広告・地図・消費者コンテンツなどを提供する企業の株式などを買い増しし、米国の工具メーカーの株式などを一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション※¹」「エンゲージメント※²・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング※³」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1 投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。

※2 企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと。

※3 特定のセクターを除外すること。

運用チームはこれまで同様に、反復的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業への集中投資を行ないます。ブランド、ネットワーク効果、必要不可欠な製品・サービスといった「無形資産」による価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁することができます。習慣的な購買行動やサブスクリプション（定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス）などによる反復的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。

保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーション（投資価値評価）は株式市場対比で妥当な水準にあります。不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるクオリティ企業に投資することは理にかなっていると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年3月8日～2023年3月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.008 (0.008)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.011 (0.011)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (1) (0)	0.011 (0.008) (0.003)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	5	0.030	
期中の平均基準価額は、15,241円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月8日～2023年3月6日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 3,269 (707)	千米ドル 54,671 (-)	百株 6,792	千米ドル 90,210
	カナダ	3 (132)	千カナダドル 786 (188)	26 (-)	千カナダドル 5,380 (188)
	イギリス	2,610	千英ポンド 4,302	3,494	千英ポンド 9,205
国	スウェーデン	1,178 (4,121)	千スウェーデンクローナ 45,207 (40,408)	786 (1,648)	千スウェーデンクローナ 9,935 (41,067)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	360	4,207	1,851	14,470
	フランス	21	728	33	1,160
	香港	264	千香港ドル 2,057	3,044	千香港ドル 24,164

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年3月8日～2023年3月6日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	26,135,830千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	32,406,197千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.80

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月8日～2023年3月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月6日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	971	674	7,048	958,045	ヘルスケア機器・用品	
ADOBE INC	—	120	4,160	565,491	ソフトウェア	
ALPHABET INC-CL A	36	659	6,172	838,911	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
AMPHENOL CORP-CL A	724	422	3,344	454,564	電子装置・機器・部品	
AUTOMATIC DATA PROCESS	442	220	4,951	672,972	情報技術サービス	
BAXTER INTERNATIONAL INC.	1,585	610	2,437	331,321	ヘルスケア機器・用品	
BECTON, DICKINSON	459	303	7,208	979,798	ヘルスケア機器・用品	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC	254	196	2,828	384,383	情報技術サービス	
CDW CORPORATION	—	136	2,751	374,003	電子装置・機器・部品	
COCA COLA CO	532	335	1,993	270,932	飲料	
DANAHER CORP	456	373	9,442	1,283,476	ライフサイエンス・ツール/サービス	
EQUIFAX INC	35	207	4,308	585,643	専門サービス	
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	1	—	—	—	資本市場	
FIDELITY NATIONAL INFORMATION	513	—	—	—	情報技術サービス	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	768	737	7,558	1,027,339	資本市場	
IQVIA HOLDINGS INC	195	293	6,475	880,186	ライフサイエンス・ツール/サービス	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	130	—	—	—	パーソナル用品	
MICROSOFT CORP	729	635	16,214	2,203,838	ソフトウェア	
MOODYS CORP	56	59	1,772	240,973	資本市場	
NIKE INC-B	209	200	2,422	329,240	繊維・アパレル・贅沢品	
OTIS WORLDWIDE CORP	635	499	4,338	589,689	機械	
PAYPAL HOLDINGS INC	—	470	3,585	487,358	情報技術サービス	
PROCTER & GAMBLE CO	591	312	4,399	598,033	家庭用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	134	105	4,554	619,097	ソフトウェア	
STANLEY BLACK & DECKER INC	396	64	561	76,321	機械	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	747	680	6,108	830,243	半導体・半導体製造装置	
TEXAS INSTRUMENTS INC	252	197	3,470	471,646	半導体・半導体製造装置	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	203	170	9,561	1,299,583	ライフサイエンス・ツール/サービス	
VISA INC-CLASS A SHARES	782	603	13,513	1,836,781	情報技術サービス	
ZOETIS INC	162	128	2,191	297,895	医薬品	
AON PLC	—	120	3,670	498,884	保険	
ACCENTURE PLC-CL A	413	395	10,659	1,448,804	情報技術サービス	
MEDTRONIC PLC	950	510	4,256	578,554	ヘルスケア機器・用品	
STERIS PLC	32	143	2,731	371,211	ヘルスケア機器・用品	
小計	株数・金額	13,405	10,589	164,694	22,385,228	
	銘柄数<比率>	30	31	—	<73.8%>	
(カナダ)				千カナダドル		
CONSTELLATION SOFTWARE INC	65	42	9,757	974,773	ソフトウェア	
LUMINE GROUP INC	—	132	188	18,850	その他	
小計	株数・金額	65	175	9,946	993,623	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<3.3%>	
(イギリス)				千英ポンド		
PRUDENTIAL PLC	2,216	2,181	2,762	451,702	保険	
EXPERIAN PLC	455	657	1,853	302,969	専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,893	1,190	6,990	1,142,961	家庭用品	
RELX PLC	1,719	1,370	3,477	568,644	専門サービス	
小計	株数・金額	6,284	5,400	15,084	2,466,277	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<8.1%>	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	
(スウェーデン) ATLAS COPCO AB-A SHS	百株 —	百株 2,865	千スウェーデンクローナ 35,907	千円 465,359	機械
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	— —	2,865 1	35,907 —	465,359 <1.5%>
(ユーロ…ドイツ) SAP SE HENKEL AG & CO KGAA VORZUG DEUTSCHE BOERSE AG	1,179 1,321 277	1,050 — 236	千ユーロ 11,491 — 3,940	1,659,826 — 569,108	ソフトウェア 家庭用品 資本市場
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	2,778 3	1,287 2	15,431 —	2,228,935 <7.3%>
(ユーロ…フランス) LOREAL-ORD	103	91	3,474	501,909	パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	103 1	91 1	3,474 —	501,909 <1.7%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	2,882 4	1,378 3	18,906 —	2,730,845 <9.0%>
(香港) AIA GROUP LTD	5,494	2,714	千香港ドル 23,394	404,961	保険
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	5,494 1	2,714 1	23,394 —	404,961 <1.3%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	28,131 40	23,123 42	— —	29,446,296 <97.0%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2023年3月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 29,446,296	% 94.6
コール・ローン等、その他	1,679,501	5.4
投資信託財産総額	31,125,797	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産 (30,862,127千円) の投資信託財産総額 (31,125,797千円) に対する比率は99.2%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.92円、1カナダドル=99.90円、1英ポンド=163.50円、1スウェーデンクローナ=12.96円、1ユーロ=144.44円、1香港ドル=17.31円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月6日現在)

○損益の状況 (2022年3月8日～2023年3月6日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,308,169,126
コール・ローン等	690,480,168
株式(評価額)	29,446,296,092
未収入金	2,157,404,595
未収配当金	13,988,271
(B) 負債	1,959,114,815
未払金	1,288,314,771
未払解約金	670,800,000
未払利息	44
(C) 純資産総額(A－B)	30,349,054,311
元本	19,586,577,529
次期繰越損益金	10,762,476,782
(D) 受益権総口数	19,586,577,529口
1万口当たり基準価額(C/D)	15.495円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	437,678,393
受取配当金	435,144,605
受取利息	2,645,528
その他収益金	1,733
支払利息	△ 113,473
(B) 有価証券売買損益	3,058,412,785
売買益	7,080,303,326
売買損	△ 4,021,890,541
(C) 保管費用等	△ 3,608,751
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,492,482,427
(E) 前期繰越損益金	9,982,906,405
(F) 追加信託差損益金	2,505,004,014
(G) 解約差損益金	△ 5,217,916,064
(H) 計(D+E+F+G)	10,762,476,782
次期繰越損益金(H)	10,762,476,782

(注) 期首元本額は24,288,305,593円、期中追加設定元本額は4,956,955,872円、期中一部解約元本額は9,658,683,936円、1口当たり純資産額は1.5495円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド(為替ヘッジなし) 12,004,318,337円
 ・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド(為替ヘッジあり) 7,582,259,192円

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。